

ただひたすらに夢中になっても

* ただひたすらに夢中になっても

うまくいかないことばかりなのに

そんな大したことをやらない子に

なぜか報われることもある **

何が違うかわからない

ただうまくいくときは

人との関わり合いのおかげで

お互いながら感じる

* ハイハイ! ヤッホー! ハイハイ! ヤッホー!

差し出す気持ちでさうさうに

Especially for you Especially for you

受け取る気持ちでさうさうに **

* そんな細かいことは気にしなくても

少しも気づかぬが、ことばかりなのに

スッと大雑把にしてしまっても

わかってくらえることもある **

何が違うかわからない

ただわかりやす..ことは

おれもこれもということだけ

はっきり目的が伝わる

(* ~ **)

(# ~ ##)

(x ~ **)

Capo. 1

知らないところへ

Gm F D Gm FD

Gm F Eb F
いつもそこにいくと決めていたんだ

Gm F Eb F
そこから先へは いくことがない

Gm F Eb F
空っぽだった 僕の考えに

Gm F Eb F Gm
ふっと浮かぶように 知らないところへ

Gm F Eb F
決まってきた 毎日から 抜けたくて

Gm F Eb F
いつものことが 嫌になった わけでなく

Eb F Eb F Gm
* いつまでも 同じこと 同じところ ででよう...

Eb F Eb F Gm
と少しでもない 間違いかあるのかもしれない...

DADFAD (オニパニDm)

いつの日も 同じ人 同じ自分で居れない

演じている 疲れがあるのかも わからないけど **

いつもこちらにいくと決めていたんだ

反対の方向に いくことはない

空っぽだった 僕の考えに

ふっと浮かぶように いつもと違うところへ

決まらされた 毎日から 変えたくて

そこから 引いて 逃げてしまおう わけでなく

(* ~ **)

Capo. 0

成功裡

G C D7 G G C D7 G

G C D7 G G C D7 G
そんたにうまきは いくはすがた...

A7 D7 C D7
うまくいって 長く続か...

G C D7 G D7
特別に努力したわけではなく

A7 C D7
巡り合わせが良かっただけのこと

C G D7 G
ただ思...通りになっているうちに

C G D7 G
終わらせておきた...良い思い出として

小さな失敗たくさんあるけれど

思っているほど問題にはな...ず

特別に期待されてたのでもなく

反省ばかりで 収めただけのこと

滞りなければ もう少しだけ

終わらすことなく 続けていただろう

1-マニ + オープンD

E7 C A7 C
* 残すために 語り継ぐために

A7 D7 G
おろくたっても 仕方のないこと

E7 C A7 C
成功裡は 終わることだけのために

A7 D7 G
区切りつけるのも 仕方のないこと **

目的だけを 実現しただけで

本当に向か良かったのか

特別に努力したわけではなく

巡り合わせが良かっただけのこと

ただ思...通りになっているうちに

終わらせておきた...良い思い出として

(** ~ **)

Capo. 4 Bm
Capo. 6 Am

(D#m)

そこに意味はあったのか

★ 左を向いて手を挙げたから 向かえる人には
右肩上がりの成果に見立てた 心証を証与える

コツコツ時間をかけ
目的を理解しないまま 何をやってる

悔しい思...するだけで
的外れなものを作って 誰にもわからない

ひとりで考えたもの ひとりでやろうとすること
いつか疲れて

イヤになる思いするだけで

時間が過ぎてゆくばかり 誰も気付かない

少しだけでも 仲間がいたなら
喜び分かれ合えたのだから

ノーマル

今さら誰にも声かけられない。

これにやってきたのに

見栄えばかり気にして 目的を實現しないまま
何をやってる

虚しさが残るだけで 伝わらない... そのばかりで
誰にもわからない。

少しだけでも 味方かいたなら

相談さえもできたのだから

今さら誰にもわかってもらえない。

そこに意味はあったのか

ものごとをシンプルに捉えたなら 本質がわかる

無駄なものを取り除き 落としこみれば

むづかしくなる

(★ ~ ★★)

Capo. 0

てるてるぼうず

G Am D G Am D G
C G Am D G

G Am
この世にひとつだけのてるてるぼうず

D G
晴れる願いがなえてくれた

G Am
輝く紫陽花を見にいくために

D G
無事に終えたお礼のために

C G C G
釜道の脇に咲いたヒメカリスが

C G Am D G
6つのおしべを嬉しそうに揺らしている

思い出は2年前の安産折願で

訪れた日もよく晴れていたね

釜道脇のパーキング。やっとみつけて

大事そうに抱えて歩いた

3人来る日が本当におつよかった

ヨチヨチ歩きのこの子にはわからないだろうが

D G D G B D (オープンG)

G Am D G
★てるてるありがとう 今日の日をありがとう

G Am D G
明たうたとしても ちんぷんぷんたりしないよ

てるてるありがとう ニコニコ笑って

これも君のおかげ 晴れただけじゃなくて

夏の戌の日の若宮大路

行き交う人も嬉しそうに

門をくぐると静かな空間

穏やかな別の世界

自分の人生とて永くたあがする

ヨチヨチ歩きのこの子にはわからないだろうが

(★ ~ ★★)

城跡

G Am D G D G Am D G

^G登ったのに ^D向もなく ^{Em} ^D

^G振り返る ^D景色が ^Cやけに ^D低い ^G

^{Em}残された ^C城門が ^Dポツンと ^Gあるだけ

^{Em}石碑だけの ^C敷地内に ^{Am}何か ^Dあったのか ^G

* ^G天守閣が ^{Am}あったとしても

^Cそこに ^{Am}登ったなら ^G

^G気持ち良かったかも ^{Am}しれないけれど

^Cきっと ^{Am}寂しかったろう ^G ☹☹

反対側の風景は 堀があるだけで

今も昔の山だけが見える

説明に立てられた駒札があるだけ

本丸の裏側という想像が記される

* ここに立って見る景色は

昼は明るいけれど

暗い中で佇むには

きっと怖かったろう **

(* ~ **)

(* ~ **)

ダンテライオン

0 3 5 10 3 0 3 5 10 0
Dm F B C F Dm F B C Dm

^{Dm} 白い綿毛を^Cつけたときから

^{Dm} それぞれが結実した代わりに

^C やがてくる仲間との別れが ^{Dm} すこぶりに

^{Dm} ^{Bb} ^C ^F
風を受けて君の親も

^{Dm} ^{Bb} ^C ^F
ここに降りて冬を越し育った

^{Dm} ^{Bb} ^C ^F
時には踏み分け葉もなくして

^{Dm} ^{Bb} ^C ^F
はりめぐらす根だけ頼りに

^F ^{Bb} ^C ^F
★ 一度まり空を飛び^C全てを晴らして

^F ^{Bb} ^C ^F
舞い上がれ舞い上がれ蝶々たちのFうに

^F ^{Bb} ^C ^F
いつかのとき遠くまで行きたいのならば

^F ^{Bb} ^C ^F
高く飛べ高く飛べ鳥たちのように

白い綿毛が白髪に見えるとき

いくつもの日々が過ぎ最後に

やがてくる子どもとの別れがすこぶりに

風をかせて降りたここから

むつといいとこ飛んでいつか

できるならば誰と通らな

深い土のあたりを

一度まり空を飛び全てを忘れて

暖かい南風にと身をまかせて

いつの日か美しい黄色い花たちを

ひらひらと云わないうまくさん見せてね

(★ ~ ★★)